寶生

発行所
宗教法人　寶生教大阪本部
大阪市西区北堀江3丁目10番
電話　06(6531)6722
FAX　06(6531)6152
©　（非売品）

8月号

自家成立の根源は和にあり
秩序の根源は神祖崇敬より

ご教話　物事は総て繋がっている

教祖祭（7月9日）

扨、二週間後、いよいよ東京五輪が開催されます。その五輪について政府や東京都、各組織委員会が無観客開催を決定しました。

それを受けて産経新聞に、「五輪『無観客』は大失態」という記事がありました。

確かにその通りで、一年延期したのですから、諸準備、コロナ対策等は充分にできたはずです。

やはり最も大きな原因はワクチン接種の遅れです。日本でのワクチン接種が、国際社会に大きく出遅れた為に、この様な結果になってしまいました。

皆様もよくお解りのように、物事は総て繋がっています。つまり、この「無観客開催」も、ただそれだけの問題ではないのです。

ワクチン接種がもっと進んでいれば、無観客にせずに済んだでしょう。では何故ワクチン接種が遅れたのかと申しますと、日本が軍隊を持っていないからです。

ウイルスやワクチンは、諸外国では既に「生物兵器」と捉えられています。アメリカでは、ワクチン接種にかかる費用を国防費から捻出していることからもお解り頂けるでしょう。

つまり欧米諸国では平時から、この度の様なウイルスまん延に対応できる準備が整っているのです。

では何故日本が軍隊を持っていないのか。常々申し上げている様に、大東亜戦争敗戦後、GHQに押し付けられた憲法を使い続けているからなのです。

つまり五輪無観客開催もよく歴史を繙くと、違う所に大きな原因が潜んでいるということなのです。

扨、先程申し上げた日本の軍隊について、少し歴史を振り返ります。

敗戦後、日本はGHQの占領下となります。当時の総理大臣は吉田茂。吉田首相は、占領が終わり、GHQが去った後、戦前のような強大な軍隊に頼らず、軽武装でも自立して国際社会の中で生きていける国家を目指しておりました。

そして昭和二十五年、まだ日本が占領下の段階で、朝鮮戦争が勃発します。その際GHQの命で、吉田政権は七万五千人規模の警察予備隊を創設、再軍備を始めたのです。

その後GHQは、さらに三十万人規模に増強しろと圧力を掛けてきたのですが、吉田首相はこれには断固、抵抗しました。

この反対には様々な要因、理由はありますが、この時に上手く軍隊を再編することができていれば、国家としてより良い姿を取り戻していたのかも知れません。

その様に考えますと、先程申し上げた様に、物事は総て繋がっていて、最初のボタンを一つ掛け違えると最後のボタンは絶対に掛からないということなのです。

私達の信仰生活に於いても同じです。神様、ご祖先へのお仕えの仕方を間違え、道を逸れてしまいますと、取り返しの付かないことにもなりかねません。

お互いにそうならない様に、しっかり寶生山の神様を信仰し、ご祖先にお仕えして、正しい道にお導き頂き、ご守護いただいて、日々を過ごしたいと存じます。

ご教話　歴史を知り愛が生まれる

月並祭（6月15日）

本日は、本部教会が鎮座します「大阪市」の歴史を繙いてみたいと思います。

『古地図でたどる大阪24区の履歴書』という書籍がございます。著者は大阪市出身の作家・本渡章さんです。

大阪市の歴史は古く、豊臣秀吉が大坂城を築いた頃は、人と物が集まる政治・経済の中心地でした。

しかし、大坂夏の陣で豊臣氏は滅び、大坂城は落城。その後、大坂城下は徳川幕府の天領として復興、繁栄し、「天下の台所」と呼ばれるようになったのです。

大坂城再建に当り、徳川幕府が全国の大名に号令を掛け、各地から人夫を集め、木材を集め、今の大坂城の基礎が出来るのです。

扨、教会のある「堀江」は土佐藩邸跡が多く見られ、古くから土佐藩（現在の高知県）と縁の深い地域です。

その土佐藩もご多分に漏れず、徳川大坂城築城の為に人夫と材木の調達を命じられます。

しかし、当時の土佐藩は大変貧しかったそう。現在の様に国と地方行政がお金を出し合う訳では無く、藩ごとに財政を賄わなければならない時代です。

この時土佐藩は巨額の借財を抱えることになります。京都の豪商からお金を多く借り、いつ財政破綻してもおかしくない状況にまで追い込まれたそうです。

当時、藩の仕置役（行政業務全般）を担っていたのが野中直継という人物です。彼は大変頭の切れる人物で、藩政改革を実施します。

この改革では、土佐藩が幕府に対し、大坂城築城に当り、材木はその殆どを当藩で用意する代わりに、土木工事を免除してもらえるよう直訴します。

そして、土佐藩の長岡郡本山郷にある白髪山に自生している良質なヒノキを大坂へ沢山運び、幕府に献上します。

このヒノキは豊臣秀吉の時代から有名な銘木で、全国にその名が轟いていた程でした。野中氏は、この材木を全国へ出荷し、財政を立て直そうと考えたのです。

そこで、大坂に材木を集める為の蔵屋敷を建て、その一帯を、白髪山の材木が集まることから、「白髪町」と呼びました。その名残で、現在教会の北側に「白髪橋」という交差点があるのです。

当時の土佐材木は「御材木」と呼ばれ、一切値引き無しで取引される程、全国で珍重される地位にあったそうです。

その結果、土佐藩は一挙に借財を返済しただけでなく、さらに残り金ができた程であったといわれております。

ここまでは、あくまで新大坂城が築城されるまでのお話。その後、江戸後期、大坂は「大坂三郷」といって、本町通りを境に北組と南組、大川以北を天満組と呼び、三つに街割りされました。

当時は上町台地の北の端大坂城のある辺りが都市の北の端で、そこには武家屋敷が建ち並んでいました。

天満組には大阪天満宮や綱敷天神社、福島天神が、南組には南船場と島之内、北組には船場、西船場と、各賑わいがあり、幕末には、現在の西区の辺りは湾岸地域として最先端の開発がなされました。

明治時代に入り、大坂三郷は再編され、大阪市街地が北、東、西、南の四大組に分割されます。

それぞれの大組は区となり、順々に開発され、明治二十二年にようやく大阪「市」が誕生するのです。

大阪市はまず、当時港として大阪の玄関口であった現在の西区川口に外国人居留地（旧川口居留地）を設置し、「八百八橋」と呼ばれる程街中に廻る運河を利用して流通を行った、まさに水運の街でした。

一方で台風や大雨の影響で水害に苦しめられた歴史もありました。その水害を解消しようと、多くの運河が暗渠という地下水路として整備され、現在の姿に移り変わったといわれております。

この様に物事の歴史を知ることは大変重要なことで、「賢者は歴史に学び、愚者は習慣に学ぶ。」という言葉があります。

賢い人は日々の身近なことではなく、遥か昔の歴史から物事を学ぶということなのです。

例えば、国の歴史を知ると「愛国心」が生まれます

ご教話　平穏な生活こそお陰

教祖祭（6月9日）

し、先程の話の様に、自分の住む地域の歴史を知ると「郷土愛」が生まれます。

そして、各家にも歴史があります。それぞれの氏名（うじな）の歴史を大切にし、子ども達、孫達に伝えていくことが、「家族愛」を育む大きな原動力になるのではないかと存じます。

昨日、六月八日は、附属池田小事件から丁度二十年が経ったということで、現場に居合わせた方の当時を振り返るお話が、産経新聞に掲載されておりました。

目の前で友人が命を落とす姿や犯人の目は、何時まで脳裏に焼き付いて、忘れる事はないのではないかと存じます。

同じ教室に居たにも関わらず、僅か一メートル、僅か数秒の差で、命を失った生徒と助かった生徒が居られます。

これこそがまさに、神様、ご祖先のご守護ではないでしょうか。

私共の生活の中でも、ほんの僅かな差で大難が小難に、小難が無難にという場面がおありかと存じます。

それを「運がよかった」と思うのではなく、神様、ご祖先の「お陰」と感じるのが信仰です。

先日も申しました様に、戦後、日本は教育現場から宗教的情操教育が欠落し、「目に見えないもの」への畏敬の念を失ってしまっています。

考えてみますと、世の中には「光」があれば「闇」もあります。「陽」があれば「陰」もあります。

これが恐らく世の常で、例え宗教的情操教育を行ったとしても、附属池田小事件の様な悲しい出来事は無くならないかも知れません。

しかし、その暗い「陰」の道を避け、明るい「陽」の道を歩ませて頂くのが正に信仰ではないでしょうか。

何事もない平穏な生活こそが何よりの幸せであり、「有り難い」ことなのだと、常に感謝を忘れず日々を過ごさなければならないと、改めて感じた次第でございます。

秋之祖先霊大祭

ご慰霊・新合祀
―申込み受付―

各家の大切なご祖先へのご慰霊と感謝の誠を捧げるお祭りです。ご家族揃ってご参拝ください。

記

秋之祖先霊大祭
九月二十三日（秋分の日）
午後一時三〇分　開式

※ご慰霊、新しい霊の合祀願いのお申込みは、九月十五日までに教会事務所へなさってください。

教会行事

八月	一日(日)	月並祭	午前十時
	八日(祝)	御本宮月並祭	午前十一時半
		御本宮遙拝式	午前九時
	九日(振休)	教祖祭	午前十時
	十五日(日)	月並祭	午前十時
	二一日(土)	名古屋地区敬和会	
	二二日(日)	養老教会修行日	
	二五日(水)	修行日	午前十一時、午後七時
	二八日(土)	米子地区敬和会	
	二九日(日)	大掃除	午前九時
九月	一日(水)	月並祭	午後七時
	五日(日)	御本宮月並祭	午前十一時半
		御本宮遙拝式	午前九時
	八日(水)	修行日	午前十一時、午後七時
	九日(木)	修行	午前十一時
		教祖祭	午後七時